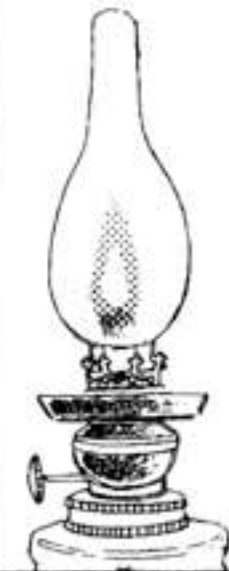




君が僕を見つめる
その意味を知っている

君がその気持ちを
伝えてくれる日を

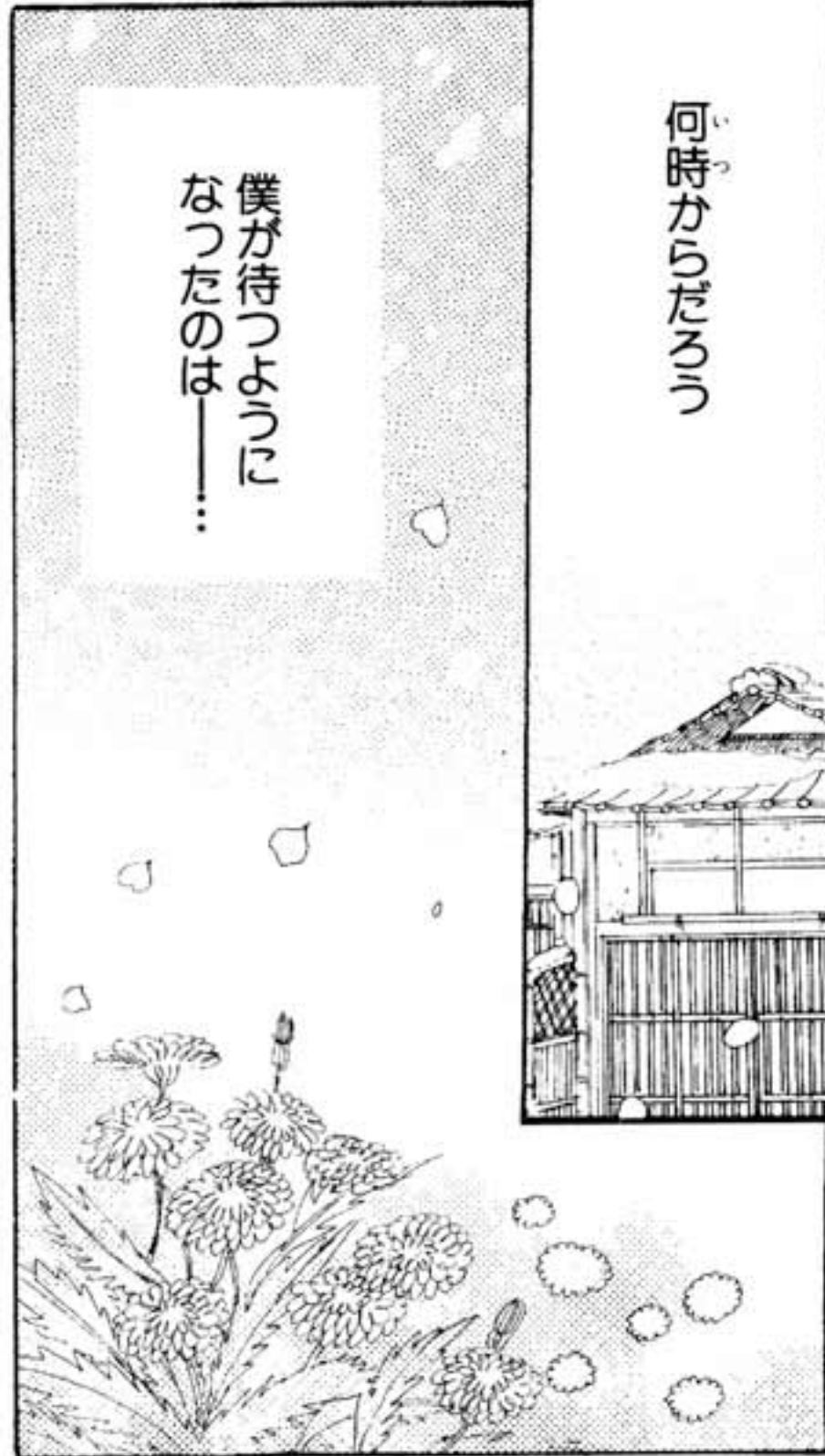
僕は待っている



何時からだろう



僕が待つように
なつたのは――！



君と出会つたのは
この春のことだ



たまたま
下宿の同じ部屋を
間借りすることが
きつかけだった

ナリをして
いるんだらう



いや、僕、傘を
そう差す人はじめて
見ちゃったな！
君の国じゃそれが
普通かい？

な…失敬な

あ、部屋は
二階だよ
こっちこっち

こら、君



君は一目で
変わり者
だろうと
知れた

三家本五郎と
云います

人と話すのはあまり
得意ではないので

俺のことは
なるべく放って
おいてくれ



わんわん

年は同じ
くらい
だらうか

あの訛りは
どこの出かなア



オイ
何を
する

何ってそいじゃ
重いでしょ



まアまア

ここに
お座りに
なって



